



2015年3月期 決算説明資料

(注) 見通しに関する注意事項

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

2015年5月15日
兼松株式会社

For more information
<http://www.kanematsu.co.jp/>



2015年3月期決算説明

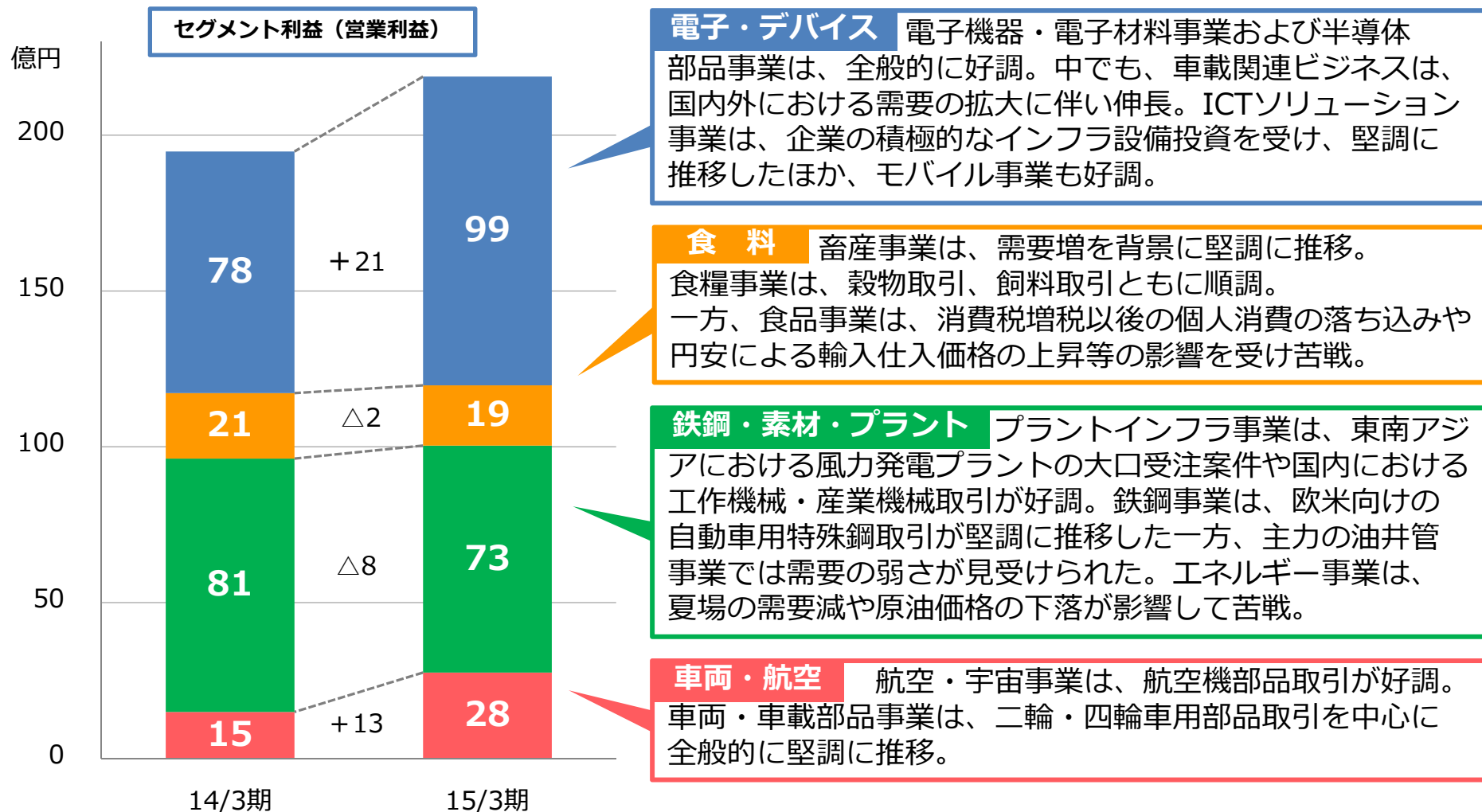
1 - 1. 2015年3月期ハイライト (P/L)

- ✓ 経常利益は、史上最高益 229 億円を達成
- ✓ 当期純利益は、税制改正の影響を受けたものの、計画比増益

| (単位:億円) | 14/3月期 (実績) | 15/3月期 (計画) | 15/3月期 (実績) | 前期対比 | 計画対比 |
|---------|----------------|----------------|----------------|--------|--------|
| 売上高 | 11,145 | 11,500 | 11,171 | + 26 | △ 329 |
| 売上総利益 | 864 | 885 | 914 | + 50 | + 29 |
| 営業利益 | 198 | 220 | 221 | + 23 | + 1 |
| 経常利益 | 202 | 205 | 229 | + 27 | + 24 |
| 当期純利益 | 118 | 110 | 115 | △ 3 | + 5 |
| E P S | 28.1円 | 26.2円 | 27.3円 | △ 0.8円 | + 1.1円 |

1 - 2. 2015年3月期ハイライト (セグメント利益)

✓ 電子・デバイス／車両・航空セグメントが全般的に好調



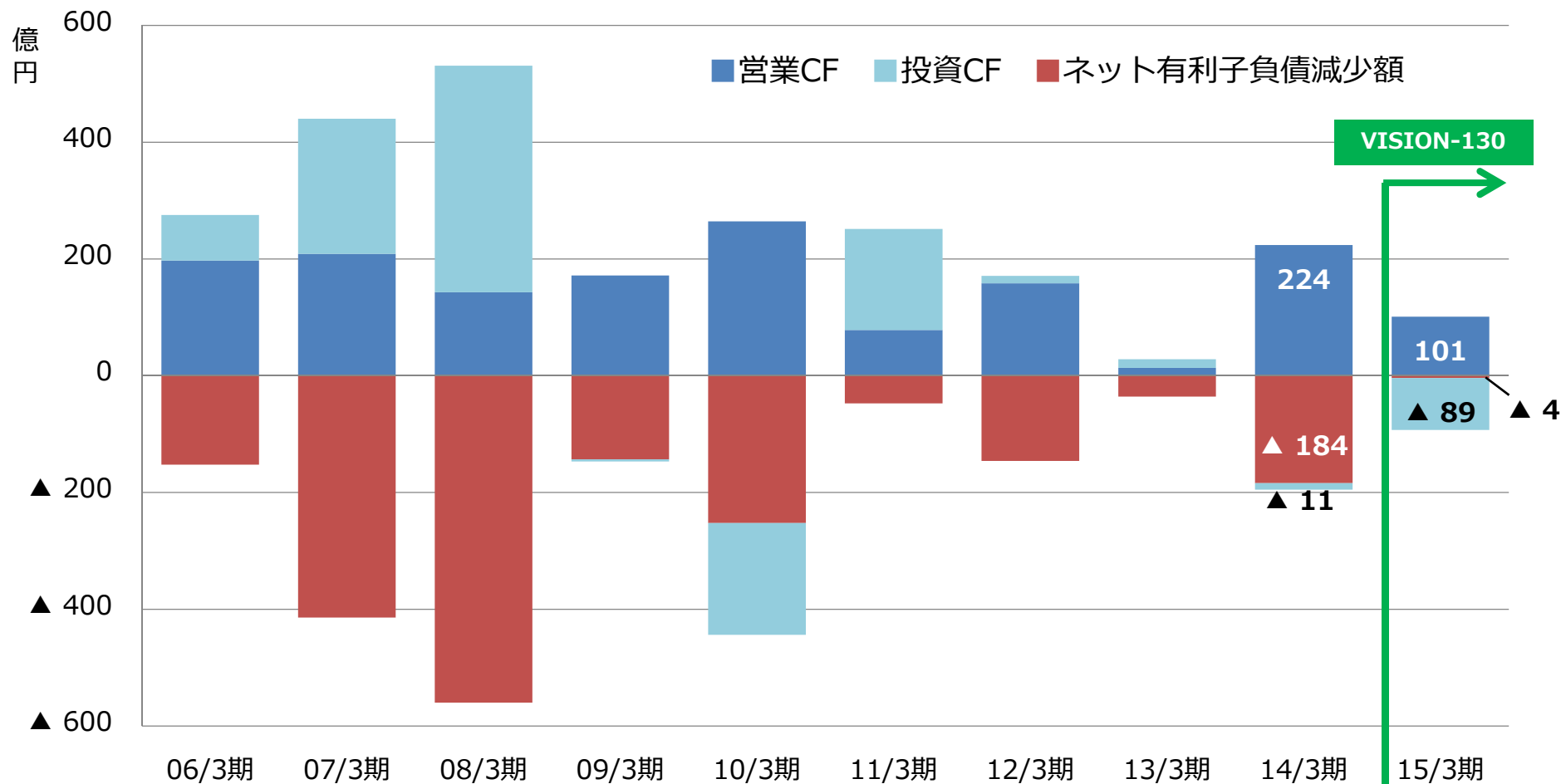
1 - 3. 2015年3月期ハイライト (B/S)

- ✓ 収益の積上げや円安傾向により自己資本は順調に増加
- ✓ 自己資本比率は、約20%まで改善
- ✓ ネットDERは、1倍を切る水準を維持

| (単位:億円) | 14/3月末 (実績) | 15/3月末 (実績) | (単位:億円) | 14/3月末 (実績) | 15/3月末 (実績) |
|---------|----------------|----------------|---|----------------|----------------|
| 総資産 | 4,285 | 4,590 | グロス有利子負債 | 1,419 | 1,361 |
| 純資産 | 962 | 1,187 | ネット有利子負債 | 680 | 676 |
| 自己資本 | 717 | 901 | ネットDER | 0.9倍 | 0.8倍 |
| BPS | 170.5円 | 214.1円 | ROE | 18.7% | 14.2% |
| 自己資本比率 | 16.7% | 19.6% | <small>※ 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分、 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産、 ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本</small> | | |

1 - 4. 2015年3月期ハイライト (C/F)

✓ 営業CFで得られた資金を元に、新規投資を実行



2 - 1. 2016年3月期見通し (P / L)

- ✓ 経常利益は、2期連続の最高益更新を見込む
- ✓ 当期純利益 (当社株主に帰属) は、+ 10億円の増益を見込む

| (単位:億円) | 14/3月期 (実績) | 15/3月期 (実績) | 16/3月期 (見通し) | 15/3月期対比 | |
|--------------------|----------------|----------------|-----------------|----------|--------|
| | | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 11,145 | 11,171 | 12,000 | + 829 | + 7.4% |
| 売上総利益 | 864 | 914 | 950 | + 36 | + 3.9% |
| 営業利益 | 198 | 221 | 240 | + 19 | + 8.5% |
| 経常利益 | 202 | 229 | 230 | + 1 | + 0.5% |
| 当期純利益 (当社株主に帰属) | 118 | 115 | 125 | + 10 | + 9.0% |
| E P S | 28.1円 | 27.3円 | 29.7円 | + 2.4円 | + 9.0% |

2-2. 2016年3月期見通し（セグメント別）

- ✓ 電子・デバイスは、ICT分野が続伸。兼松日産農林の連結収益も寄与
- ✓ 食料は、為替差益との入り繰り解消で営業利益段階では増益
- ✓ 鉄鋼・素材・プラントは、油井管事業などエネルギー関連が弱含み
- ✓ 車両・航空は、引き続き好調を維持

| (単位:億円) | 売上高 | | 売上総利益 | | 営業利益 | |
|------------|---------------|---------------|------------|------------|------------|--------------|
| | 15/3月期 | 16/3月期 | 15/3月期 | 16/3月期 | 15/3月期 | 16/3月期 |
| 電子・デバイス | 2,765 | 3,000 | 448 | 460 | 99 | ➡ 105 |
| 食料 | 3,077 | 3,400 | 121 | 135 | 19 | ➡ 35 |
| 鉄鋼・素材・プラント | 4,678 | 4,800 | 253 | 250 | 73 | ↘ 70 |
| 車両航空 | 597 | 650 | 78 | 80 | 28 | ➡ 30 |
| その他（調整額含む） | 53 | 150 | 15 | 25 | 2 | — |
| 合計 | 11,171 | 12,000 | 914 | 950 | 221 | ➡ 240 |

3 - 1. VISION-130 ～兼松の挑戦～



事業創造に**チャレンジ**し続ける企業

経営目標

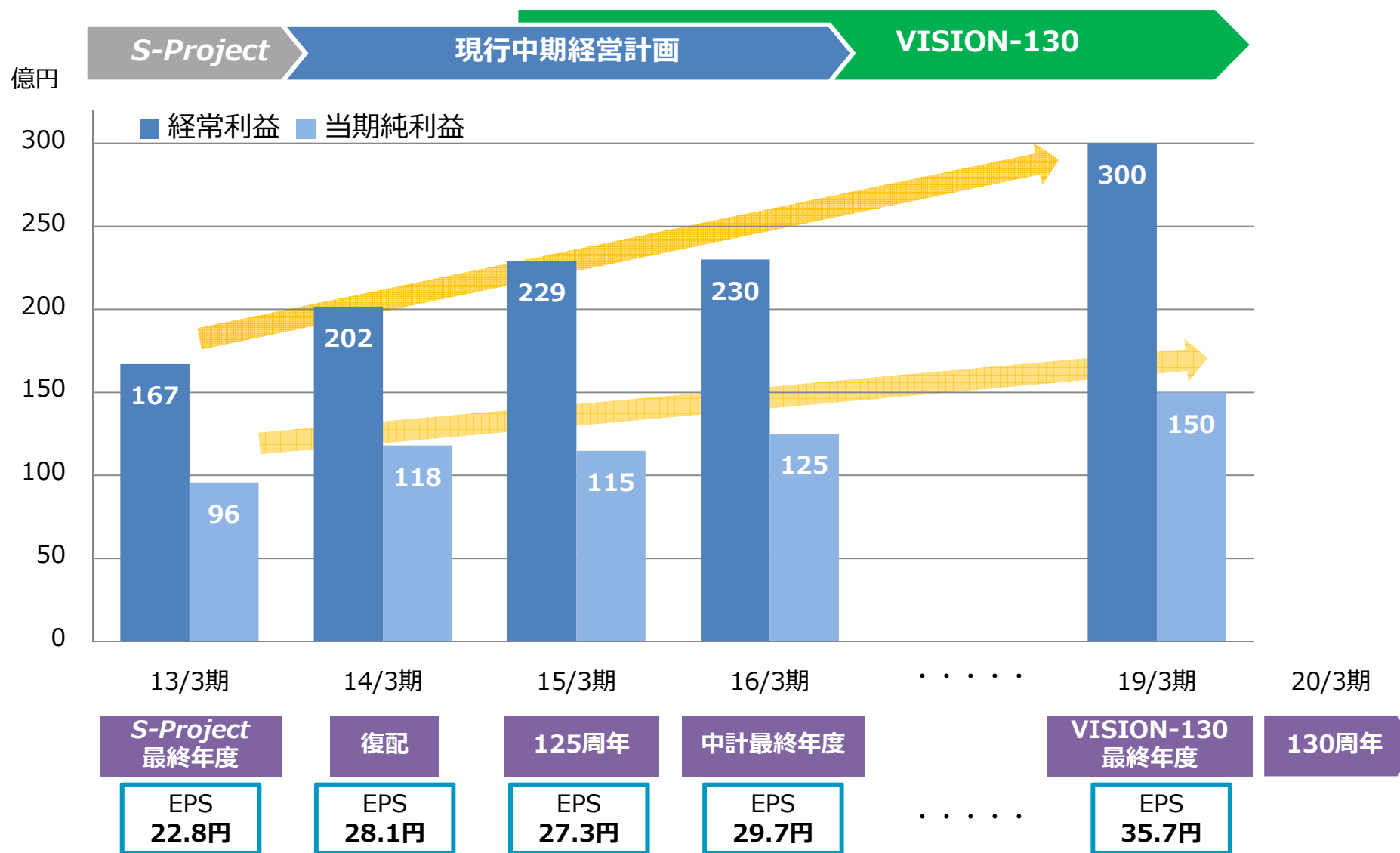
健全な財務体質の維持

収益基盤の拡大

目標値

| | |
|----------------------|------------------------|
| 連結経常利益 | 300億円 |
| 連結当期純利益 (当社株主に帰属) | 150億円 (ROE 15%) |
| 連結自己資本 | 1,000億円超 (ネットDER 1.0倍) |

3 - 1. VISION-130 ～兼松の挑戦～



3 - 2. 強みを有する得意分野

✓ 強みを有する得意分野に注力し、事業の横展開・深掘りを推進

得意 4 部門

電子・デバイス

食料

鉄鋼・素材・プラント

車両・航空



主要重点 6 分野

ICTソリューション

システム事業の拡大と
サービス・サポート事業の効率化

モバイル

M & A 等による規模の拡大

アジアの食市場

提案・製造・供給ワンストップ展開と
バリューチェーンインフラの構築

北米シェール市場

油井管等、製造・加工・販売
バリューチェーンのさらなる拡大

グローバル・モータリゼーション

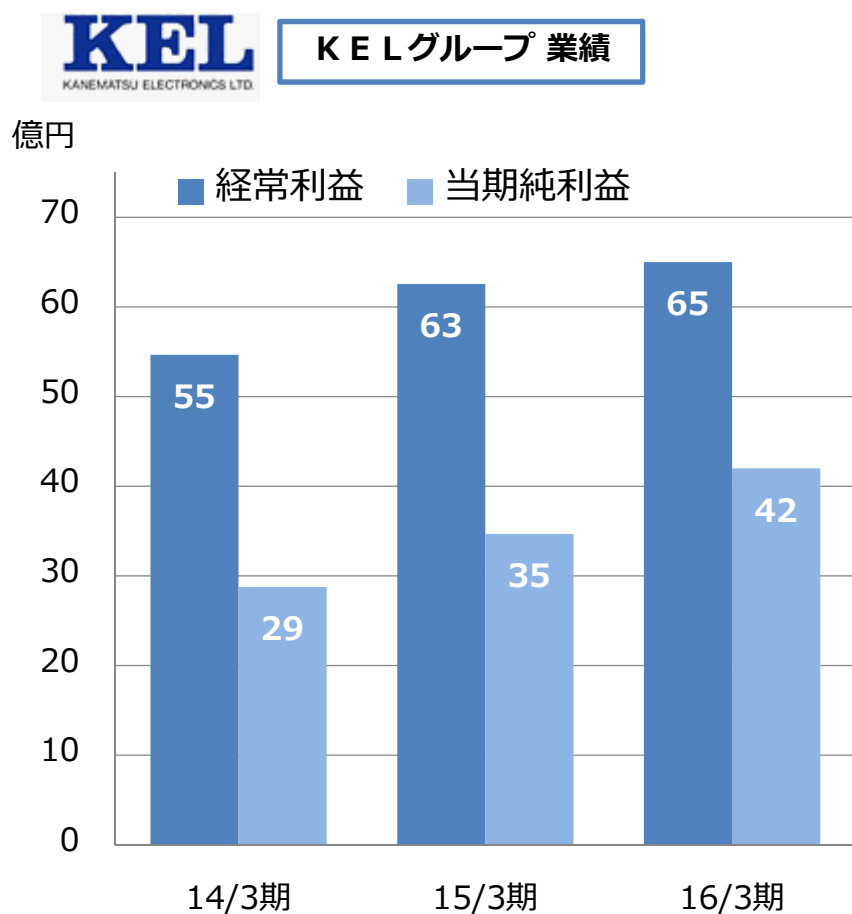
グローバル自動車市場でのソーシング・
技術開発・ロジスティクス強化

日系メーカー等の海外進出

日系メーカー海外進出での協業、
海外進出支援

4-1. 初年度進捗（ICTソリューション）

✓ 兼松エレクトロニクスによるグループ再編 （日本オフィス・システムの100%子会社化）



KELグループ内における
一層の人材交流促進

一体経営による
トータルITサービスの提供

➔ 更なる安定した収益基盤の
充実と企業価値向上

KEL主要連結子会社

システム事業

- ケー・イー・エルシステムズ
- 現地法人2社
(中国/成都、タイ)

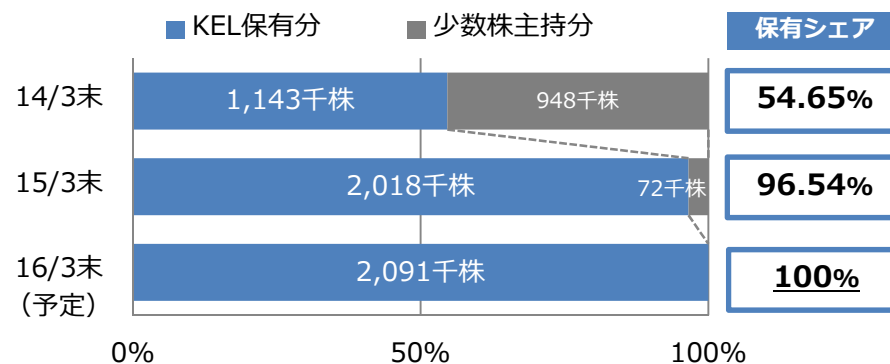
サービス・サポート事業

- **日本オフィス・システム**
- ケー・イー・エルテクニカルサービス

※上記のうち、タイ現法を除き
すべて100%子会社（予定含む）

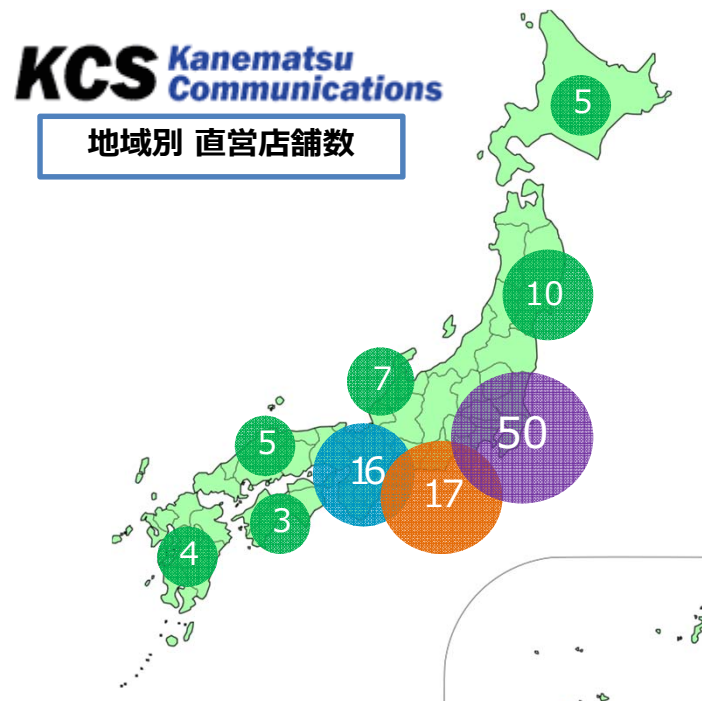
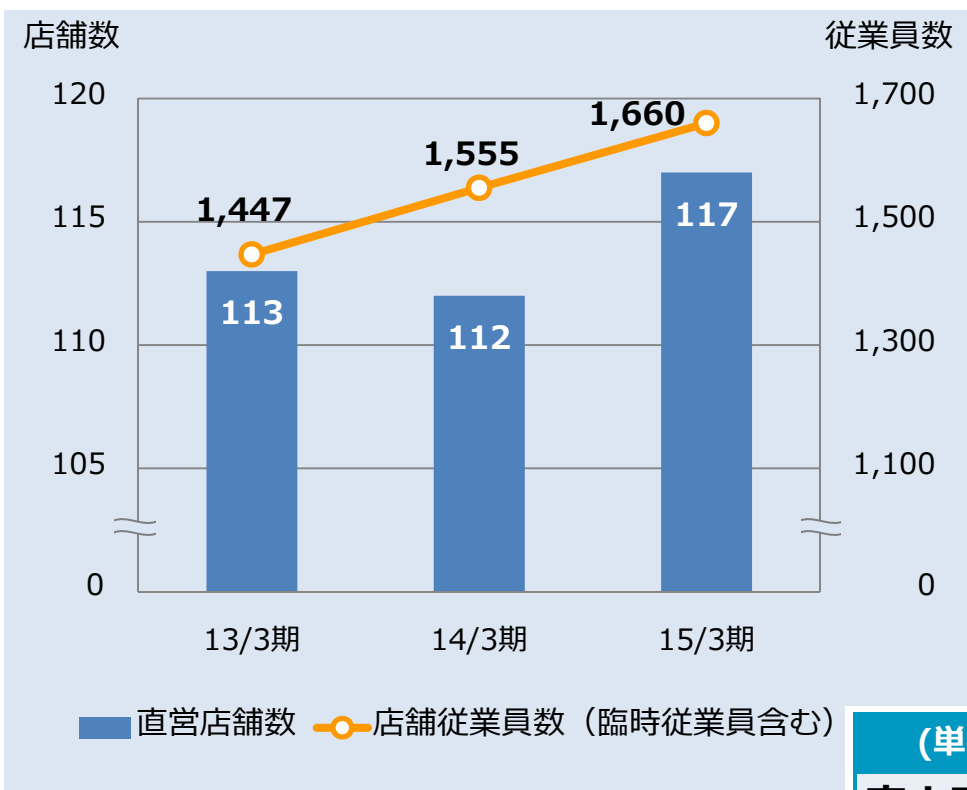
NOS 日本オフィス・システム株式会社

NOS株式の状況



4-2. 初年度進捗（モバイル）

✓ 兼松コミュニケーションズによる事業基盤の拡大



| (単位:億円) | 13/3月期 | 14/3月期 | 15/3月期 |
|---------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 1,195 | 1,359 | 1,332 |
| 経常利益 | 27 | 23 | 32 |
| 当期純利益 | 16 | 12 | 20 |

4-3. 初年度進捗（アジアの食市場）

- ✓ インドネシア食品加工合併会社（Kanemory）の本格稼働
- ✓ インドネシアのフルーツゼリー製造会社へ出資

Kanemory

自社工場の本格稼働開始



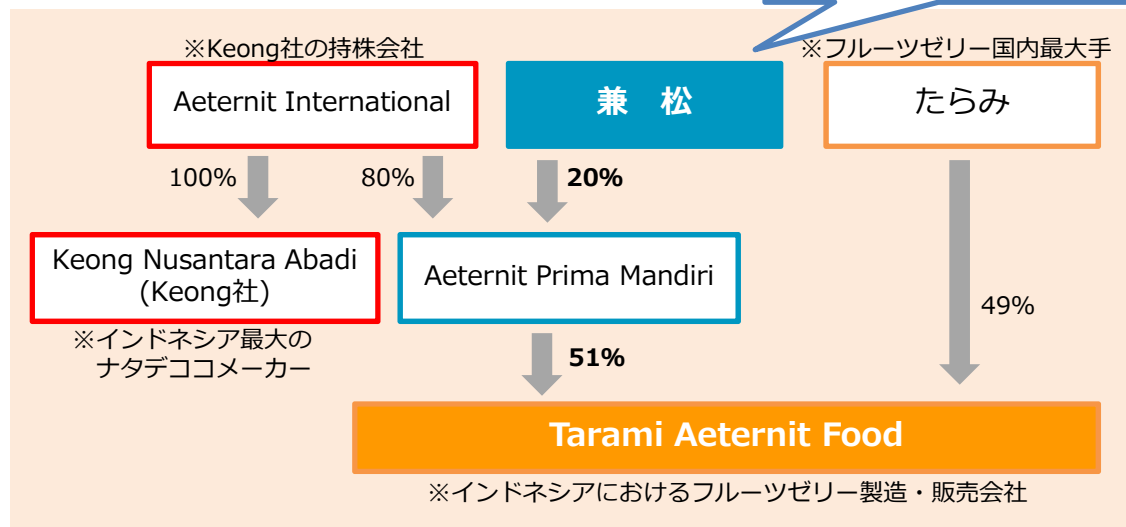
Kanemory Food Service

インドネシアのフルーツゼリー製造会社へ出資

- 伝統的なインドネシアの食生活においても「楽しむ食」へと変化が表れている
- インドネシア初となるフルーツゼリーで市場開拓

当社の役割

- ① 本事業の全般的な推進および現地パートナーとの折衝
- ② 輸入フルーツ原料の安定供給
- ③ 近隣諸国への製品販売



➡ インドネシアおよびアジアの食文化に根ざした事業を展開

4-4. 初年度進捗（北米シェール市場）

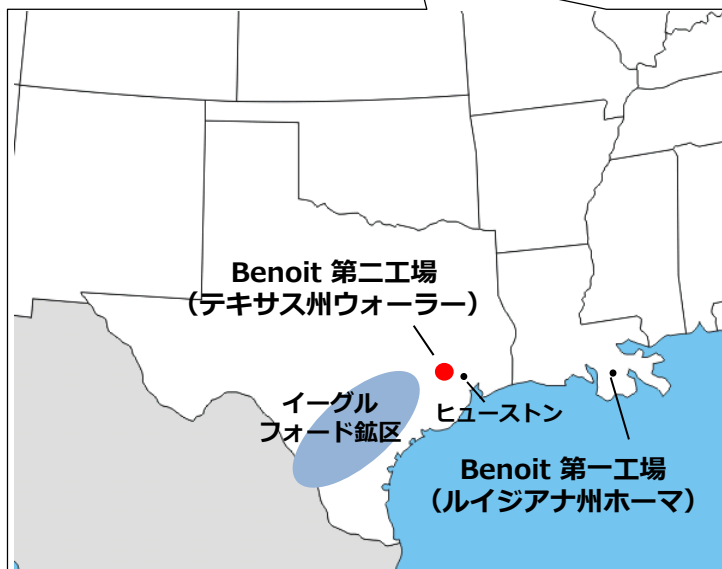
- ✓ 北米油井管加工（Benoit）第2工場設立のための土地購入
- ✓ 原油価格下落によって環境激変 → 建設作業は一時中断



油井管加工会社

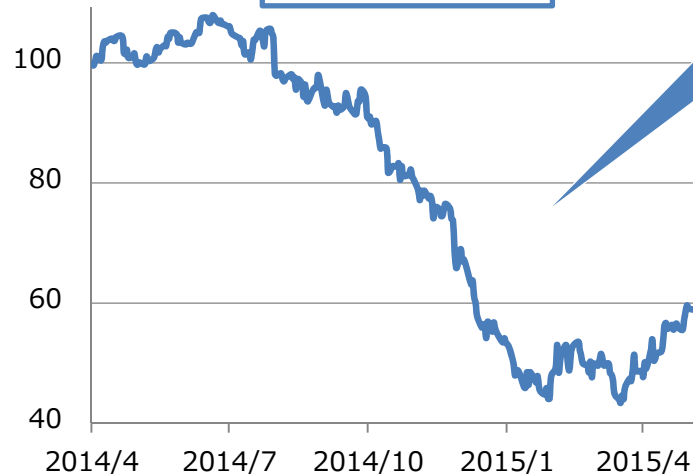


第2工場建設プロセス



ドル/バレル

WTI価格



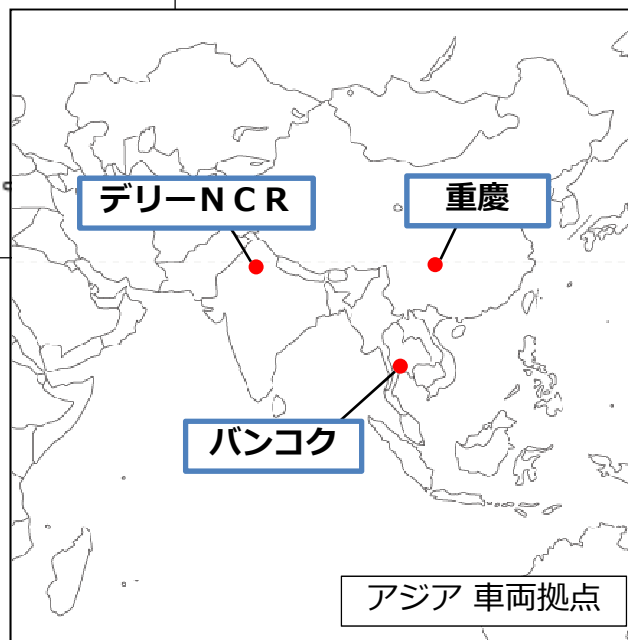
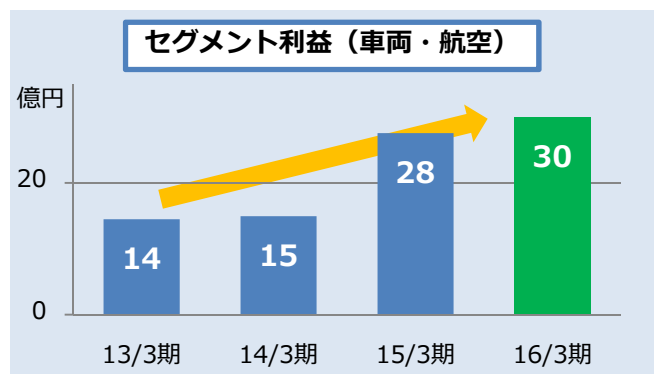
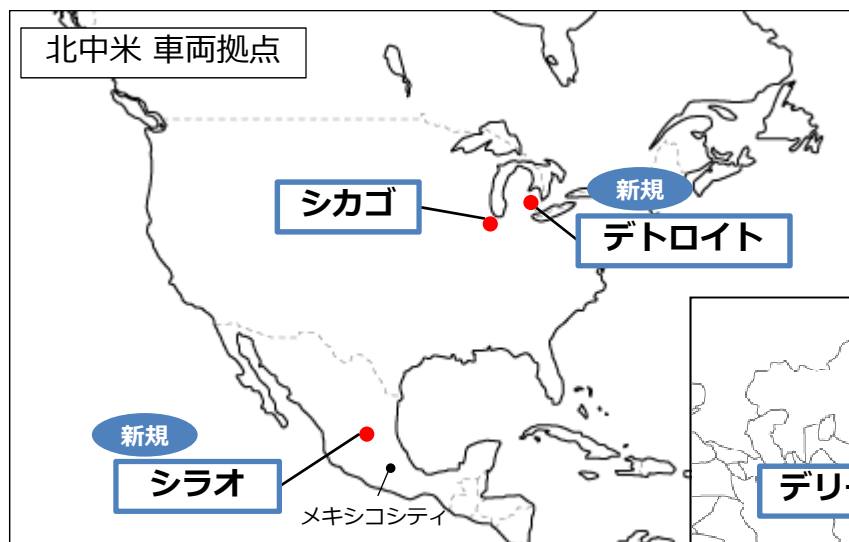
原油価格の急落によって、シェールをはじめとする資源開発が停滞

油井管需要にも弱さが見受けられたことから、第2工場建設は一時中断

需給動向の見極め

4-5. 初年度進捗 (グローバル・モータリゼーション)

- ✓ メキシコやデトロイトに拠点を拡大
- ✓ 民間航空機用循環部品 (KGAR) の取扱いラインナップ^o増強



KGAR
KG Aircraft Rotables

航空機用循環部品の交換修理事業



販売・リース等

顧客

ボーイング社B737型機向けを中心に1万品目にのぼる民間航空機用循環部品を英国内倉庫に保有

従来ラインナップに加えエアバス社A320型機向け循環部品の取扱いも新たに開始

3 - 2'. 強みを有する得意分野

✓強みを有する得意分野に注力し、事業の横展開・深掘りを推進

得意 4 部門

電子・デバイス

食料

鉄鋼・素材・プラント

車両・航空

主要重点 6 分野 + 新機軸

ICTソリューション

モバイル

アジアの食市場

北米シェール市場

グローバル・モータリゼーション

日系メーカー等の海外進出

新機軸

技術支援

車載関連・EMS分野における
技術支援、カメラ事業

TPP対応

TPP成立を見据えた食料分野
での機能強化と業界再編対応

4-6. 初年度進捗（新機軸① - 技術支援）

技術支援

- ✓ 兼松アドバンスド・マテリアルズの設定
- ✓ 日本マニファクチャリングサービスとの資本業務提携

KAM

車載機器等の材料・部品販売・加工

兼松・電子材料部が営む事業の一部を会社分割

- 指揮命令系統を一本化し、スピーディな意思決定
- 海外戦略も含めた経営効率の向上

「モノ+機能」のバリューチェーンを提供

モノ 在庫管理・ジャストインタイム納入

機能 材料・部品レベルでの一次加工

お取引先の様々なニーズに適確かつ迅速に応える機動力の高い専門集団

東北支店に加えて、米国テキサス州にも進出

- 米国テキサス州マッカレンに拠点設立

EMS分野での新たなビジネス創出

日本マニファクチャリングサービス社との業務提携

- 東証JASDAQ(スタンダード) (証券コード: 2162)
- 設計・開発から基盤実装やモジュールの組み立て、電気・電子部品の中核となるキーデバイスの生産までEMSにおけるすべての領域で質の高いサービスを提供
- 今回、同社株式の10%を保有

全面的な協力体制の構築

- EMS事業の拡大
- 戦略的部材調達の強化
- 北米およびアジア等海外事業展開における協業推進

主に日系電子機器メーカーに対して、困りごとの解決やきめの細かいサービスを強化

トータルソリューションを提供

北米など各国で進む車載用部品の現地製造に寄与

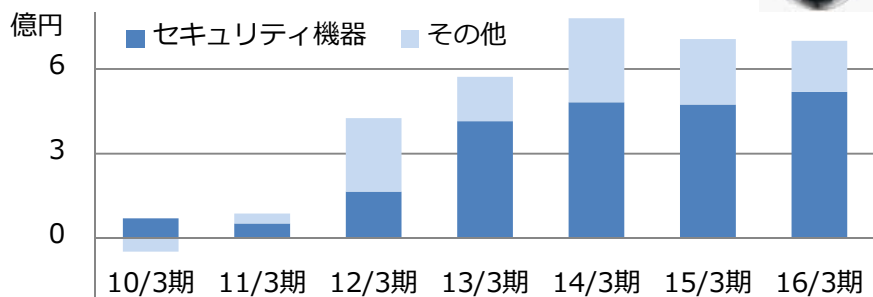
4-7. 初年度進捗（新機軸②-カメラ事業）

カメラ事業

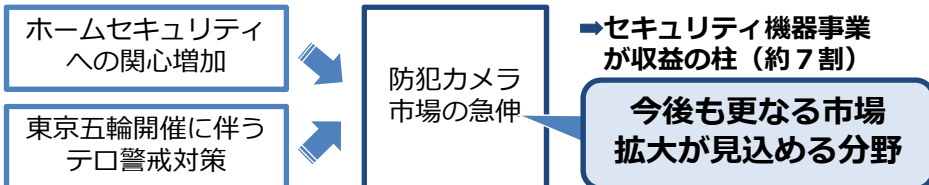
- ✓ 兼松日産農林の連結子会社化
- ✓ マイクロレンズユニット事業（カンタツ）の拡大

兼松日産農林株式会社

セグメント利益の推移

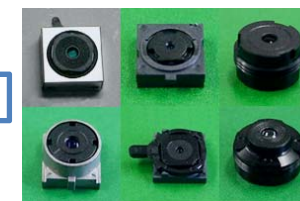


- 東証一部上場（証券コード：7961）
- 当社出資シェア：52.8%
- 事業セグメント：ジオテック（地盤改良）、木材加工、セキュリティ機器、石油製品



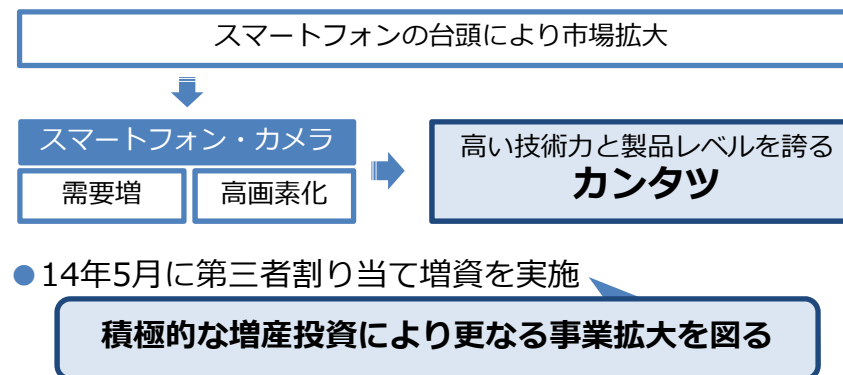
Kantatsu カンタツ株式会社

マイクロレンズユニットの設計・製造



- 本社：栃木県矢板市
- 海外拠点：中国、台湾
- 当社出資シェア：27.8%（持分法適用会社）
- 商品開発・設計～生産まで、すべてのプロセスを内製化

世界でも指折りの 携帯電話用マイクロレンズ製造会社



4-8. 初年度進捗（新機軸③-T P P / ペット）

T P P 対応

✓ 特に食料分野における
T P P を見据えた対応

T P P



- 貿易構造の変化
- 競争の激化・業界再編



メーカー&サプライヤー立ち位置からのアプローチ

価値創造型のビジネスモデル

- 生産者が主役の「強い農家」を育て日本の農業を強くする
→ 強い農家とともに世界へはばたく
- 門司港サイロを活用したお取引先への付加価値提供
→ 2012年竣工、門司港唯一のサイロ
→ 最新鋭の異物除去装置を設置、省エネ・環境にも配慮
- 得意分野である飼料事業（特に副原料）や畜産事業で
T P P を見据えた機能の強化と海外展開を図る

川上・川下を強化し、日本とアジアの胃袋を狙う

ペット関連

✓ ペットフード製造会社の買収
✓ 卸売会社の株式追加取得



ペットフード製造会社
「ノースペット」

- 本社：北海道夕張郡
- 当社出資シェア：100%
- 北海道産の新鮮な畜肉・魚介類・農産物を豊富に用いた安全・安心なペットフードの製造に注力



ペットフード・用品の卸売事業会社
「グローバルペットケア」

- 同社の持株会社であるGPCホールディングス株式を追加取得
- 当社グループ出資シェア：34%（追加取得前：10%）

川上～川下までペット事業の垂直展開を図り
香港・台湾・タイ・韓国などアジアへ進出

川上戦略

- 産地への進出
- 現地での販売網拡充
- 現地産の三国間取引

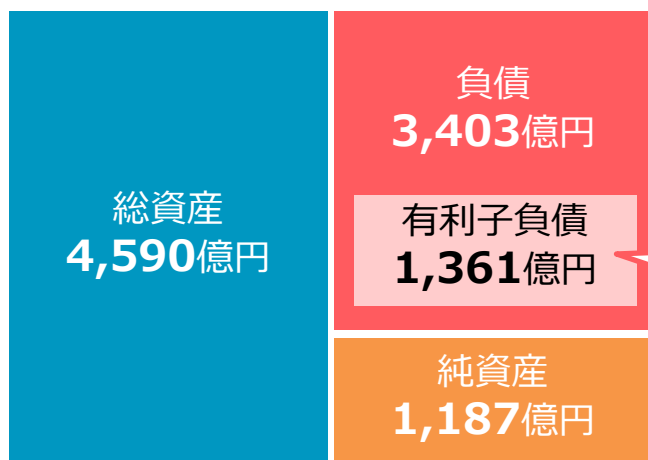
川下戦略

- 世界で戦える畜産家を育て、畜産家とともに海外へ進出
- 現地有力パートナーとの協業

4-9. 初年度進捗（社債発行登録）

✓ 普通社債の発行を目的とした300億円の発行枠を設定

兼松 連結貸借対照表（15/3末）



資金調達手段の多様化による財務安定性の向上を企図

普通社債

+

間接金融による調達

将来の成長に必要な資金を
機動的に調達できる体制を構築

発行登録の概要

| | |
|-----------|--|
| 募集有価証券の種類 | 社債（普通社債） |
| 発行予定期間 | 2015年3月25日～2017年3月24日 |
| 発行予定額 | 300億円 |
| 資金使途 | 運転資金、設備資金、社債償還資金、借入金返済資金、有価証券の取得、関係会社等に対する出資または融資、その他商事活動に必要な資金に充当する予定 |
| 予備格付 | JCR：BBB+ R&I：BBB |

VISION-130

新たな挑戦

グローバルバリューチェーンの構築

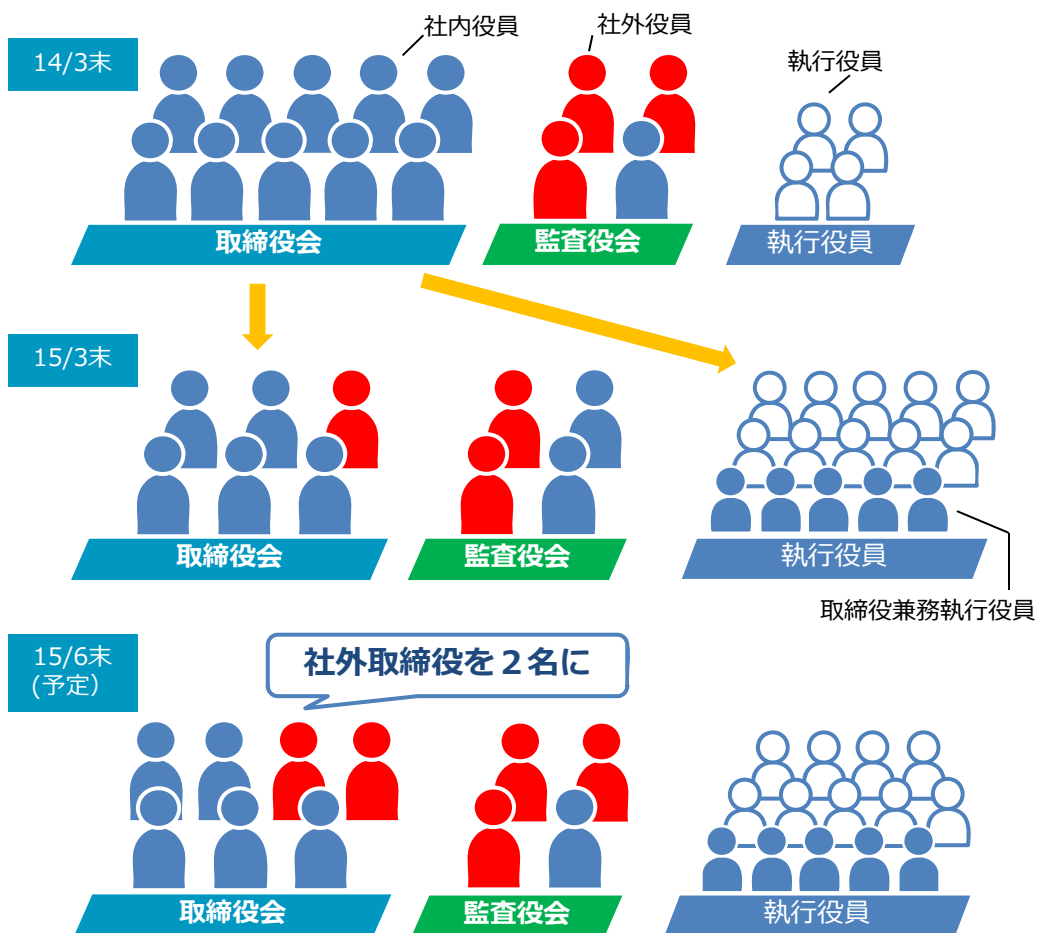
新技術・新商品の開拓

積極的な事業投資・M&A、資本市場からの調達

4-10. 初年度進捗 (ガバナンス)

ガバナンス体制

- ✓ 執行役員制度の拡充と取締役数削減
- ✓ 社外取締役の選任 → 15年6月に増員



投資基準の策定

- ✓ 全社横断的な投資基準を新設
- ✓ 併せて案件フォロー体制も確立

投資基準 入口論と出口論を策定

- **入口論**
 - ・ 定性基準…知見や経験がある得意分野に投資する資源権益や不動産分野は行わない 等
 - ・ 定量基準…全社共通の最低基準数値として、
 - IRR 10% (連結ベースの周辺取引含む)
 - 投資回収期間 原則7年内
- **出口論**
 - ・ 全社共通の最低基準を設定
 - ・ 加えて、従来どおり個別案件ごとに設定

フォロー体制 経営レベルでも投資をモニタリング

VISION-130

経営基盤の充実

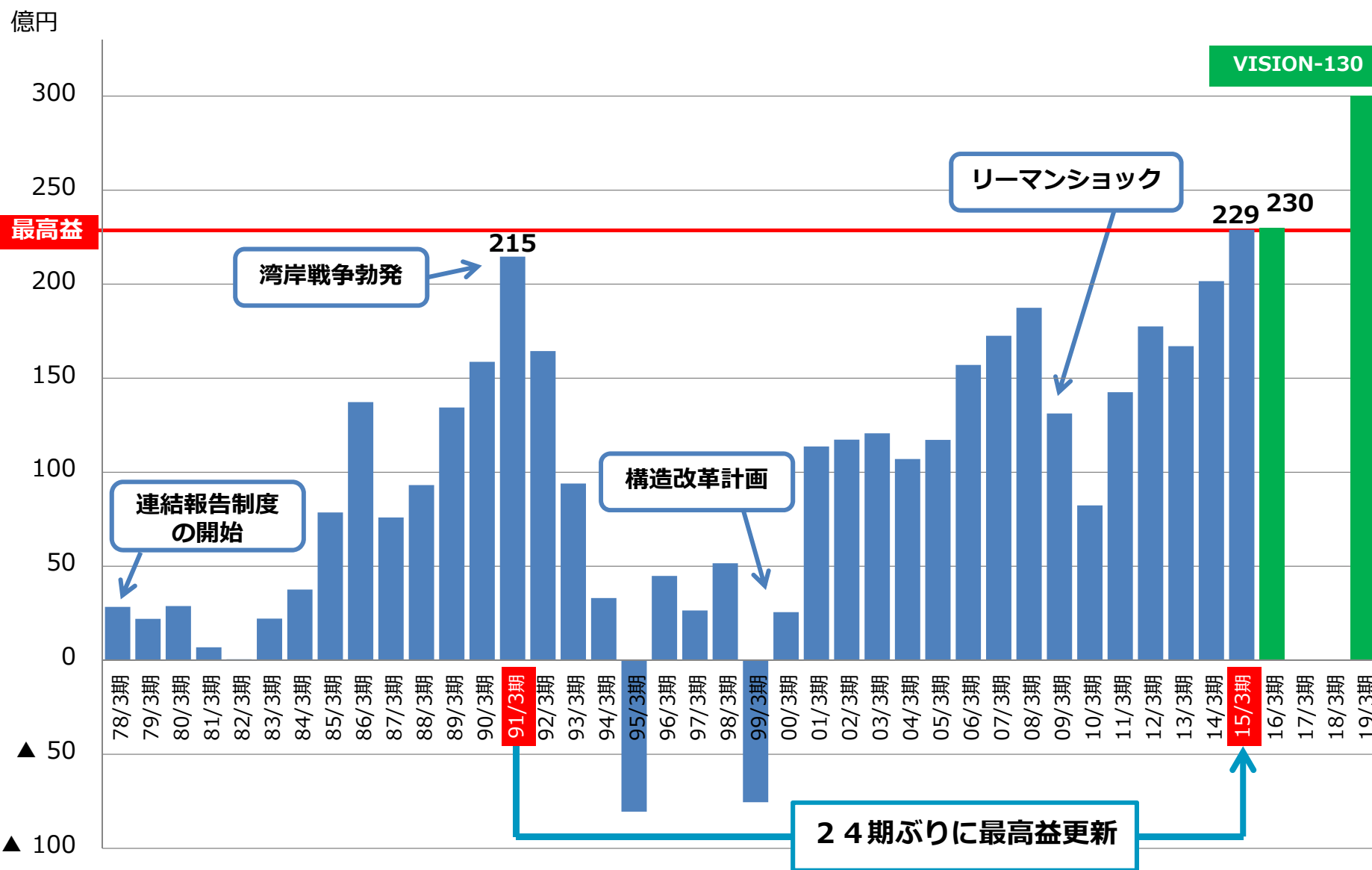
投資リスク管理の高度化

ガバナンスの強化

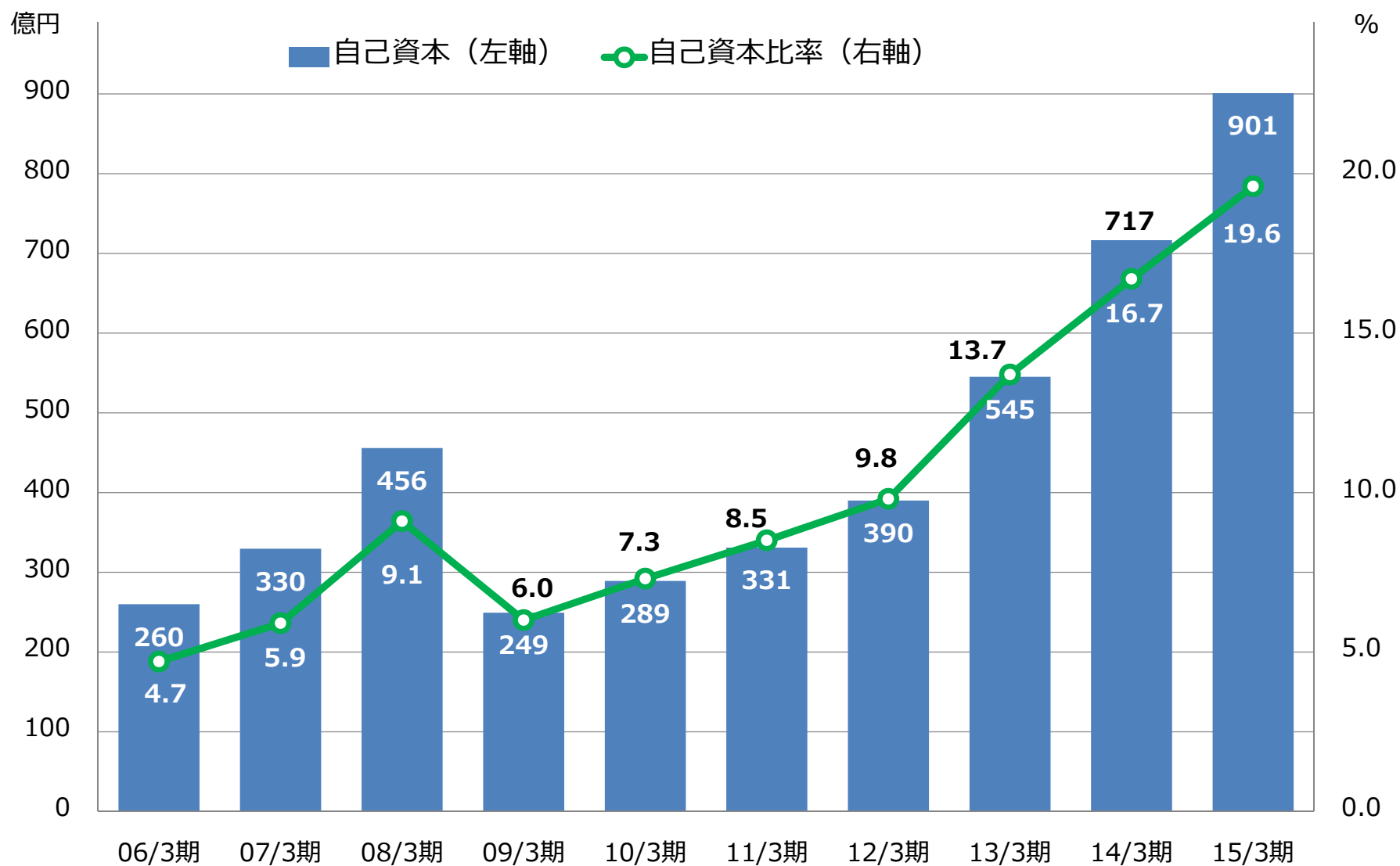
グローバル人材の育成

Appendix

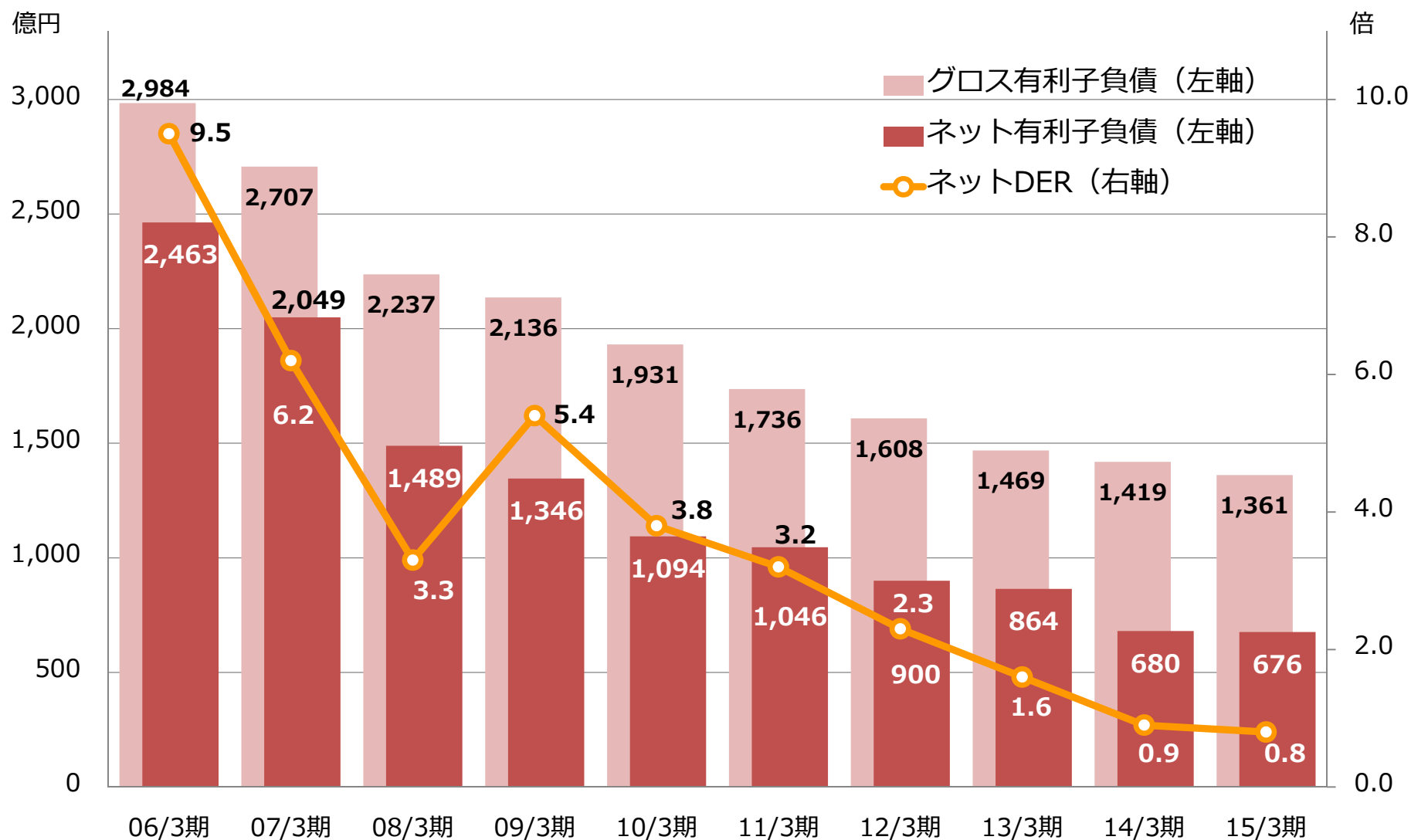
Appendix 1 – 1. 連結経常利益の推移（78/3月期～）



Appendix 1 – 2. 自己資本と自己資本比率の推移

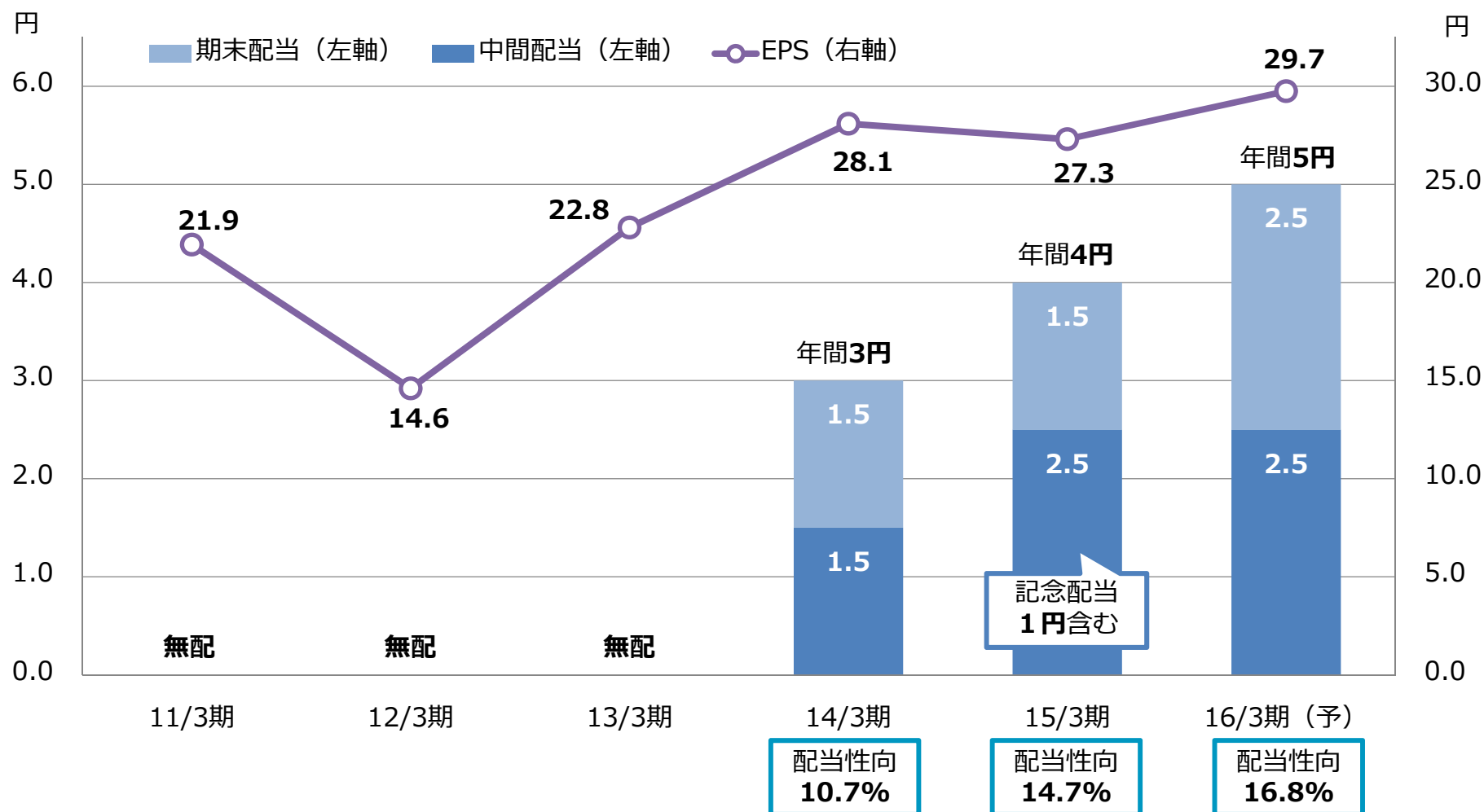


Appendix 1 – 3. 有利子負債とネットDERの推移



Appendix 2. 配当の状況

✓ 16年3月期の配当金は、1円増配の年間5円を予定



Appendix 3. 兼松グループの事業概要

| セグメント | 主要な事業 | 主要取扱商品 | 主要グループ会社 |
|------------|-----------------|---|---|
| 電子・デバイス | 半導体部品・製造装置 | 半導体・液晶パネルおよび製造装置、電子モジュール・部材 | 兼松エレクトロニクス |
| | 電子機器・電子材料 | プリンタおよび関連機器、リチウムイオン電池制御用モジュール | 兼松コミュニケーションズ |
| | ICT・モバイルソリューション | 情報・通信関連機器およびサービス、携帯通信端末、モバイルインターネットシステム・サービス | 日本オフィス・システム 兼松日産農林 |
| | セキュリティ機器 | 防犯カメラ、レコーダー等各種セキュリティ機器 | 兼松アドバンスド・マテリアルズ |
| 食料 | 食品 | 缶詰・冷凍・ドライフルーツ、コーヒー、ココア、砂糖、ゴマ、落花生、雑豆、ワイン、加工食品、調理食品 | Kanemory Food Service 兼松新東亜食品 |
| | 畜水産 | 畜産物、水産物 | 兼松アグリテック |
| | 穀物・飼肥料・ペット用製品 | 小麦、大麦、米、コーン、大豆、小麦加工食品、飼料、牧草、肥料、ペットフード、ペット用品 | 兼松ソイテック ノースペット |
| 鉄鋼・素材・プラント | 鉄鋼貿易 | 各種処理鋼板、シームレスパイプ | Steel Service Oilfield Tubular Benoit Premium Threading 兼松トレーディング 兼松ペトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス 兼松ケージーケイ |
| | 特殊鋼貿易 | ステンレス、特殊鋼線材・条鋼 | |
| | 国内鉄鋼・鉄鋼原料 | 鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス | |
| | 原油・石油製品・ガス | 原油、石油製品、LPG、排出権ビジネス | |
| | 機能性化学品、ライフサイエンス | リチウム電池原料、太陽電池関連部材、医薬品・医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品 | |
| | プラント・船舶 | 各種プラント、ODA案件、光ファイバー、電力・通信プロジェクト、船舶、船舶用機材 | |
| | 工作機械・産業機械 | 工作機械、産業機械 | |
| 車両・航空 | 車両・車載部品 | 二輪車、四輪車、車載部品、鋳鍛造部品、建設機械 | 兼松エアロスペース 新東亜交易 |
| | 航空宇宙 | 航空機・ヘリコプターおよび部品、衛星・宇宙関連製品 | KG Aircraft Rotables |

Appendix 4. 主要連結子会社および従業員の状況

主要連結子会社の売上高

| (単位:億円) | 事業内容 | 持分比率 | 14/3月期 | 15/3月期 | 増減額 |
|--------------------|------------|--------|--------|--------|-------|
| 兼松エレクトロニクス | ICTソリューション | 58.28% | 639 | 619 | ▲ 20 |
| 兼松コミュニケーションズ | モバイル | 100% | 1,369 | 1,340 | ▲ 29 |
| 兼松日産農林 | セキュリティ機器等 | 52.88% | 124 | 122 | ▲ 2 |
| 兼松新東亜食品 | 食品・畜水産 | 100% | 262 | 268 | + 6 |
| 兼松アグリテック | 飼料酪農 | 100% | 146 | 130 | ▲ 16 |
| 兼松トレーディング | 国内鉄鋼・鉄鋼原料 | 100% | 416 | 405 | ▲ 11 |
| 兼松ケージーケイ | 工作機械・産業機械 | 97.90% | 435 | 468 | + 33 |
| 兼松ペトロ | 石油製品・ガス | 100% | 1,686 | 1,624 | ▲ 62 |
| 兼松ケミカル | 機能性化学品 | 100% | 191 | 183 | ▲ 7 |
| 新東亜交易 | 商社 | 100% | 1,008 | 960 | ▲ 48 |
| Kanematsu USA Inc. | 海外現地法人 | 100% | 991 | 1,200 | + 209 |

従業員の状況

| (単位:名) | 14/3月末 | 15/3月末 | 増減額 |
|--------|--------|--------|-------|
| 単 体 | 800 | 813 | + 13 |
| 連結子会社 | 4,947 | 5,189 | + 242 |
| 合 計 | 5,747 | 6,002 | + 255 |

※従業員は就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む）

Appendix 5. グループ会社の状況

グループ会社の黒字・赤字会社数

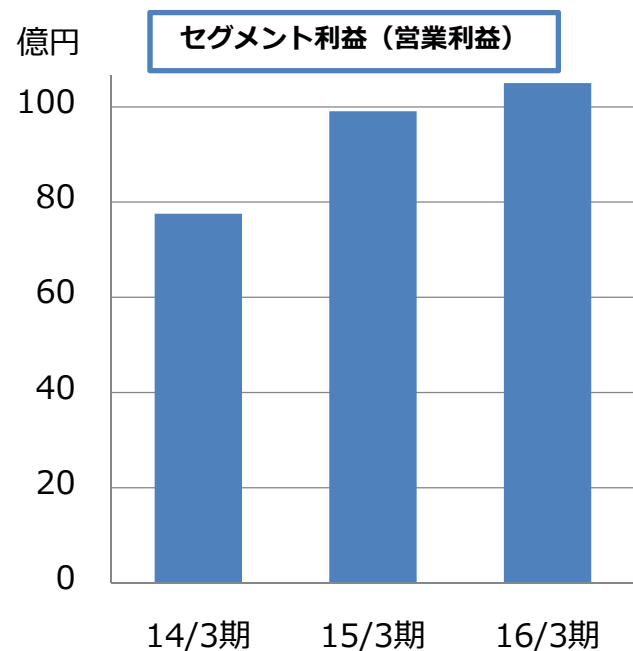
| (単位：社) | 2014/3月期 | | | | | 2015/3月期 | | | | | 前期対比 |
|--------|----------|-----|-------|-----|-----|----------|-----|-------|-----|-----|------|
| | 連結子会社 | | 持分法適用 | | 合計 | 連結子会社 | | 持分法適用 | | 合計 | |
| | 国内 | 海外 | 国内 | 海外 | | 国内 | 海外 | 国内 | 海外 | | |
| 黒字会社 | 27 | 29 | 10 | 12 | 78 | 28 | 33 | 10 | 14 | 85 | + 7 |
| (黒字比率) | 77% | 62% | 83% | 92% | 73% | 70% | 67% | 83% | 88% | 73% | |
| 赤字会社 | 8 | 18 | 2 | 1 | 29 | 12 | 16 | 2 | 2 | 32 | + 3 |
| 合 計 | 35 | 47 | 12 | 13 | 107 | 40 | 49 | 12 | 16 | 117 | + 10 |

グループ会社の黒字・赤字額

| (単位：億円) | 2014/3月期 | | | | | 2015/3月期 | | | | | 前期対比 |
|---------|----------|-----|-------|-----|-----|----------|-----|-------|-----|-----|------|
| | 連結子会社 | | 持分法適用 | | 合計 | 連結子会社 | | 持分法適用 | | 合計 | |
| | 国内 | 海外 | 国内 | 海外 | | 国内 | 海外 | 国内 | 海外 | | |
| 黒字額 | 58 | 22 | 6 | 2 | 88 | 65 | 20 | 9 | 2 | 97 | + 9 |
| 赤字額 | ▲ 0 | ▲ 7 | ▲ 0 | ▲ 0 | ▲ 7 | ▲ 4 | ▲ 1 | ▲ 0 | ▲ 0 | ▲ 5 | + 1 |
| 合 計 | 58 | 15 | 5 | 2 | 81 | 61 | 18 | 9 | 2 | 91 | + 10 |

Appendix 6 – 1. セグメント情報（電子・デバイス）

| (単位:億円) | 14/3月期 (実績) | 15/3月期 (実績) | 16/3月期 (見通し) | 15/3月期対比 | |
|---------|----------------|----------------|-----------------|----------|--------|
| | | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 2,773 | 2,765 | 3,000 | + 235 | + 8.5% |
| 売上総利益 | 423 | 448 | 460 | + 12 | + 2.7% |
| 営業利益 | 78 | 99 | 105 | + 6 | + 6.0% |

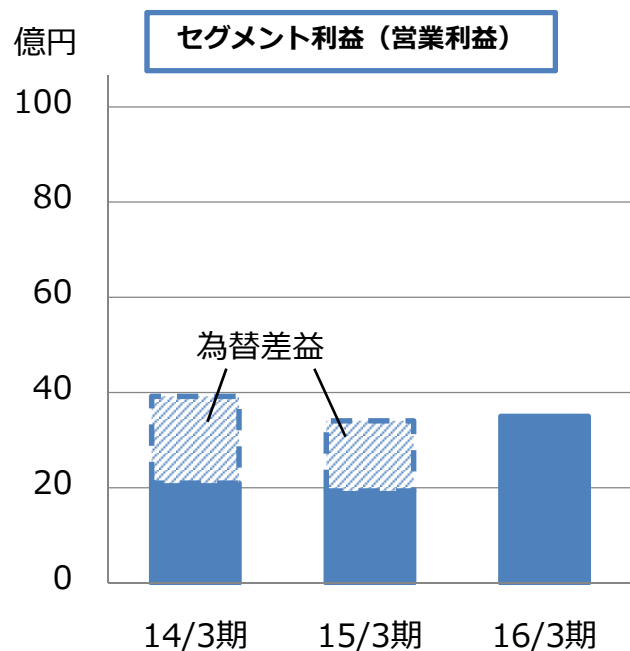


16/3期見通しのポイント

- ICTソリューション事業は、兼松エレクトロニクスにおいて、グローバル市場での積極的な事業強化や、グループ内運営の効率化を進めることなどによって、増益の見通し。
- また、兼松日産農林の連結子会社化によって、セキュリティ機器事業における連結収益の拡大が見込まれる。

Appendix 6 – 2. セグメント情報（食料）

| (単位:億円) | 14/3月期 (実績) | 15/3月期 (実績) | 16/3月期 (見通し) | 15/3月期対比 | |
|---------|----------------|----------------|-----------------|----------|---------|
| | | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 3,090 | 3,077 | 3,400 | + 323 | + 10.5% |
| 売上総利益 | 117 | 121 | 135 | + 14 | + 11.4% |
| 営業利益 | 21 | 19 | 35 | + 16 | + 81.1% |

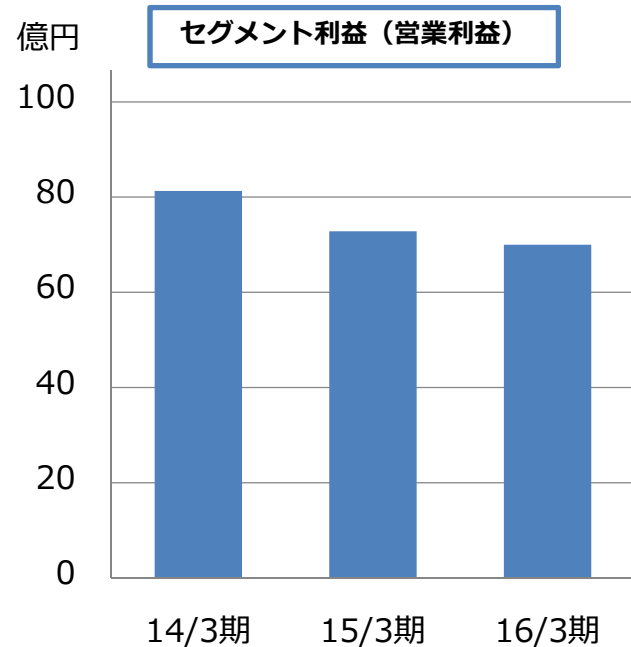


16/3期見通しのポイント

- 急激な円安の進行に伴い発生する為替差損益と売上総利益との入り繰りが解消することで、営業利益段階では増益を見込む。
- T P P 成立やアジアの食市場などが上振れ要因。

Appendix 6 – 3. セグメント情報（鉄鋼・素材・プラント）

| (単位:億円) | 14/3月期 (実績) | 15/3月期 (実績) | 16/3月期 (見通し) | 15/3月期対比 | |
|---------|----------------|----------------|-----------------|----------|--------|
| | | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 4,688 | 4,678 | 4,800 | + 122 | + 2.6% |
| 売上総利益 | 248 | 253 | 250 | △ 3 | △ 1.1% |
| 営業利益 | 81 | 73 | 70 | △ 3 | △ 3.9% |

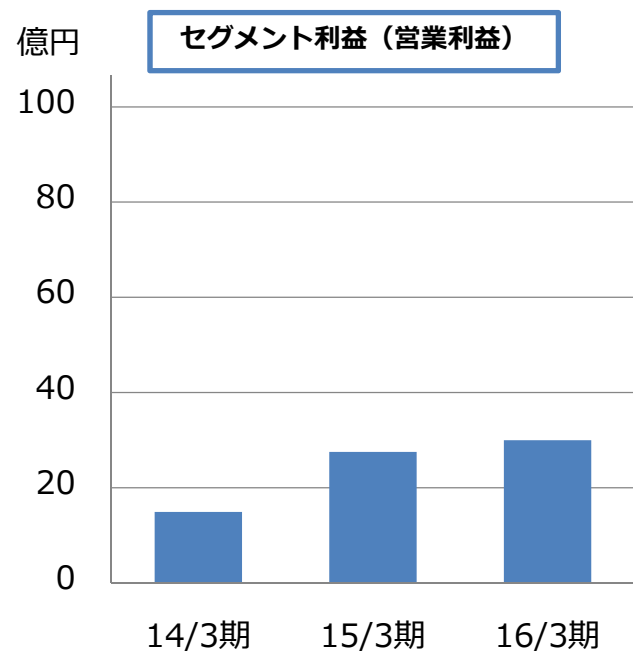


16/3期見通しのポイント

- 油井管事業などエネルギー関連は弱含み。停滞している北米の資源開発が回復してくればプラス要因。
- 工作機械・産業機械事業は、国内の設備投資需要に支えられ、増益を見込む。

Appendix 6 – 4. セグメント情報（車両・航空）

| (単位:億円) | 14/3月期 (実績) | 15/3月期 (実績) | 16/3月期 (見通し) | 15/3月期対比 | |
|---------|----------------|----------------|-----------------|----------|--------|
| | | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 545 | 597 | 650 | + 53 | + 8.9% |
| 売上総利益 | 62 | 78 | 80 | + 2 | + 3.1% |
| 営業利益 | 15 | 28 | 30 | + 2 | + 8.9% |



16/3期見通しのポイント

- 車両・車載部品事業は、引き続き、二輪車・四輪車部品取引を中心に好調に推移する見込み。北米・メキシコと、アジアを軸に事業展開。
- 航空・宇宙事業も航空機部品取引が堅調推移。